

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10

国立公文書館	
分類	④ ⑤
配架番号	3 A
	14
	82-4-3

NA # 14150 C

極

秘

昭和十六年六月廿一日

月

報 (六月分)

北支那方面軍司令部參謀部第四課

国立公文書館	
分類	
配架番号	82-4-3

配 布 區 分

參謀本部、陸軍省、總軍

部 內(參謀部一、二、三課、二機關查班、報道部、副官部、經理部)

駐蒙軍

第一軍

第十二軍

直轄師團

獨立混成第十五旅團

支 憲 司

天津 特務機關

河北省、北京、石門、新鄉、河南省、山西省、太原、運城、臨汾、蘇北

汾陽、濟南、嶧縣、濰安、海州、陽泉、芝罘、歸德、邯鄲特務機關

豫 備

附記 第一軍、第十二軍ハ特務機關々係兵團ニ一部宛送付サレ度

各五

各一

各一

各一

各一

各一

各一

各一

各一

各一

各一

各一

各一

目 次

第一章 政務關係事項

一、華北政務委員長三河縣視察ニ關スル件

二、治安部大臣來京ノ件

三、呂大使公式就任挨拶ノ爲來京ノ件

四、顧問輔佐官道、市連絡員會同席上ニ於ケル報告並懇談事項

五、山西省道區劃變更ニ關スル件

六、滿洲國政府視察員來京ノ件

七、關東洲ニ於ケル證明書發給要領中一部訂正ノ件

八、特種職官證、甲種職官證ヲ所持スル國民政府職員ノ取扱ニ關スル件

九、新民學院學生募集ニ關スル件

十、日本ヨリ支那側學校へ派遣スル教員ニ關スル件

十一、留華學生處理ニ關スル件

十二、支那側中等教員夏季講習ニ關スル件

其佛教同願會各地方分會開設ニ關スル件

其昭和十六年度思想戰指導ニ關スル件

其人滿勞動者誘致對策トシテ映畫宣傳工作實施ノ件

第二章 涉外關係事項

一、昌平縣駐屯警備隊將兵ニ對シテ「佛國大使館外交館補」トシテ「ヨリ」ノ謝辭傳達ノ件

二、易縣及涿源ニ於ケル伊國天主敎會財產被審閱查ノ件

三、在張店米國系天主堂所有地借用ニ關スル件

四、山東省山縣方鎮天主堂占據ニ關スル件

第三章 交通關係事項

一、七月分物資輸送統制ニ就テ

二、五月分物資輸送実績ニ就テ

三、天津特三區蘇聯領事館ニ關スル件

四、英系船舶措置ニ關スル件

五、華北運輸株式會社（假稱）設立ニ關スル件

六、黃河河道ノ根本處理ニ就テ

七、船主公會結成狀況

八、建設總署關係

九、本月中ニ於ケル石材採取許可狀況

十、本月中ニ於ケル建築統制許可狀況

第四章 產業經濟關係事項

一、經濟一般關係

二、金融關係

三、軍管理工場關係

四、事業審查關係

五、參考

第一章 政務關係事項

一、華北政務委員長三河縣視察ニ關スル件

華北政務委員長王揖唐ハ政務視察ノ爲六月十七日三河縣ニ至リ平谷
薊縣、香川三縣縣知事及警察所長ヲモ集メ地方一般行政治安狀況ヲ
聽取シ縣署新民會ヲ巡視シ又友軍ヲ慰問シ尙民衆ニ講話ヲ行ヘリ

二、治安部大臣來京ノ件

滿洲國ト華北接壤地帯ノ討伐情況ヲ視察シ又滿洲國西南部國境地帯
ノ治安肅正工作ニ對シ協力援助シアル當軍並ニ華北政務委員會ヲ訪
問謝意ヲ披歷シ併セテ爾後ニ於ケル國境地域ノ治安確立ニ關スル諸
般ノ協議ヲ行フヘク二十五日來京シテ二十八日歸滿ス

三、呂大使公式就任扱抄ノ爲來京ノ件

駐華滿洲國大使呂榮ハ公式就任扱抄ノ爲六月十一日來燕シテ後天
津、濟南等ヲ廻リ二十一日南京ニ歸ル

四、華北政務委員會內務總署地方行政會議開催ニ關スル件

華北政務委員會內務總署ハ六月六日ヨリ九日迄中南海勸政殿ニ於テ
地方行政會議ヲ開催シ十日ハ顧問輔佐官及道市連絡員ヲ北京借行社
ニ合同セシメ左記事項ノ報告並ニ懇談ヲ行フ
顧問輔佐官道、市連絡員會同席上ニ於ケル報告並懇談事項

(一) 報告事項

1. 治安第一主義ヲ基調トスル行政諸施策（治安強化滅共工作等）
中最モ成功シ又ハ失敗セル具體的事例
 2. 地方財政確立ニ對スル當面ノ施策
 3. 地方自治ノ育成、自衛力強化ノ爲採リツ、アル具體的方策
 4. 道公署運営ノ實績
 5. 支那側機關ノ積極的活動促進ノ爲採リツ、アル具體的方策
- (二) 懇談事項
1. 模範地區工作既往諸施策中改善スヘキ事項ト之カ具體的方策及
將來ノ見透如何

2. 行政機關ト新民會カ表裏一體關係ヲ益々緊密ニシ官治、民治ノ
綜合效果ヲ最大限ニ發揚スル爲ノ具體的方策
3. 地方金融食糧對策ノ實績及民心ノ動向如何
4. 農作物ノ收穫豫想、棉花ノ作付狀況
5. 既往文化施策及施設ヲ檢討シ將來ニ對スル具體的方策
6. 其ノ他

五 山西省道區劃變更ニ關スル件

省政ノ浸透並ニ治安確立ニ資スル目的ヲ以テ山西省ニ新ニ上黨道ヲ
増設、道公署ヲ長治ニ置ク
上黨道各縣名左ノ如シ
長治、和順、遼、潞社、武鄉、沁、襄垣、路城、屯留、壺關、長子
晉城、沁水、沁源、黎城、平順、陵川、高平、陽成

計十九縣

六 滿洲國政府視察員來京ノ件

滿洲國吉林省民生科長外二名ハ中華民國ノ實情ヲ觀察シ食糧・金融
地方行政ノ參考ニ資シ國政ノ進展ヲ圖ル爲六月十九日ヨリ七月十七
日迄北京、張家口、大同、包頭、天津、石門、保定、徐州、濟南、
青島等ヲ觀察ス

七 關東州ニ於ケル證明書發給要領中一部訂正ノ件

關東州ニ於ケル證明書發給要領中左ノ通訂正セル旨通牒アリ
(一) 要領二ノ本文但シ書トシテ左ノ通追加ス

但シ軍機保護法施行規則ニ定メラレタル特別地區居住者ニシテ居
住證明書ヲ所持スル労働者ニ對シテハ軍機保護法施行規則ニ依リ
所轄警察官署長ニ於テ旅行認證ヲ與フルモノトシ願人ハ願書ノミ
一通提出スルモノトス

(二) 要領七ヲ左ノ通訂正ス

證明書發給ニ當リテハ手数料トシテ國幣拾錢(收入印紙)ヲ徵收
シ願書控ニ之ヲ貼布シ官印ヲ以テ消印スルモノトス

八 特種職官證ヲ所持スル國民政府職員ノ取扱ニ關スル件

國民政府發給ノ特種職官證、甲種職官證ヲ所持スル職員ニ對シテハ
通行検査等ニ關シ自今左ノ通取扱フ様總軍ヨリ通牒アリ
尙從來ノ職員證、服務證ノミヲ所持スル者ノ取扱ハ從前通トス
特種職官證ヲ所持スル者 高官トシテ取扱ヒ特ニ示ス場合ノ外檢
問、檢索ヲ行ハス

甲種職官證ヲ所持スル者 一般日本人ニ準シ取扱フ

九 新民學院學生募集ニ關スル件

新民學院ハ華北政務委員會ノ直轄スル最高ノ官吏養成機關ニシテ昭
和十六年度ヨリ學制ノ大擴充ヲ行ヒ新入學生募集ヲ行フコトニ決シ
本科甲班百名、豫科百名ヲ華北全般ヨリ募集スヘク計畫シ之カ援助
指導方各省、市特務機關ニ通牒ヲ發シ優良ナル候補者ノ選抜ニ努力
セリ(六月一日附方軍參四密第七五七號)

10 日本ヨリ支那側學校ヘ派遣スル教員ニ關スル件

日本ヨリ支那側學校ニ派遣スル教員ハ爾今左ノ通實施スルコトト定ム

記

- 一、兵團（特務機關）ハ毎年十二月末日迄ニ翌年度新學年（八月）ニ於テ採用スヘキ教育職員又ハ交流ニ依リ歸還セシムヘキ教育職員ニ關スル要求ヲ一括シテ軍司令部ニ申請シ軍司令部ハ興亞院ヲ經テ文部省ニ銓衡方ヲ依頼スルコト
- 二、前項ニ依ル定期要求ノ外臨時ニ要求スヘキ者アルトキハ五月末日迄ニ前項同様ノ手續ヲ取ルコト
- 三、前各項ノ外特別ノ事情ニ依リ派遣又ハ歸還セシムルノ要生シタルトキハ其ノ理由ヲ詳細ニ具シ其ノ都度要求スルコト
- 四、派遣又ハ歸還ノ要求ニ際シテハ別記甲號及乙號型式ニ依ルコト（型式省畧）
- 五、派遣教員ノ現地候補者ノ採用ニ關シテハ第一線ノ接敵地區等ニ於

テ眞ニ止ムヲ得サル事情アル場合ニ限り兵團（特務機關）ヨリ軍司令部ニ申請シタルモノニ付テ銓議スルコトトシ其ノ他ノ地區ニ於ケルモノニ付テハ關議決定通文部省ニ其ノ銓衡ヲ依頼スルコト

六、派遣教員ニシテ交流ニヨリ歸還セシムヘキ要員ハ關議決定ニ基ク派遣教員（現地採用者ヲ含マズ）ニシテ相當期間勤務セル者ニ限ルコト

七、前各項ノ外派遣教員ノ人事事務ニ關スル件ニ付テハ昭和十五年七月二十四日方軍參四密第九五九號ニ依ルコト

備考 從前現地ニ於テ採用セルモノニ付テハ適當ノ機會ニ於テ現地ニ於テ鍊成シタル上文部省ノ正式推薦ノ形式ヲ取ラシムル如ク目下研究中ナリ

一、留華學生處理ニ關スル件

滿洲國政府ニ於テハ滿洲國人ノ中華民國各種學校へ留學セントスル學生ノ指導監督ノ緊要切ナルニ鑑ミ左記ノ通之カ處理要綱ヲ制定シ

7

關東軍ヨリ通牒シ來リタルニ付之等指導上ノ參考トシテ各兵團及特務機關ニ送付セリ（六月廿三日關參滿發第二四九〇號）
七月一日方軍參四密第九〇九號

左記

留華學生處理要綱

方針

中華民國へ自由ニ留學スル者年々相當數ニ上リ之カ指導監督ノ要緊切ナルニ鑑ミ今後中華民國ニ留學セントスル者ニ對シテモ康徳四年勅令第一四三號留學生ニ關スル件ヲ適用スヘキ建前ヲ明カニシ之ヲ統制スルト共ニ其ノ指導機構ヲ確立シ以テ之カ監督ニ遺憾無キヲ期セントス

要領

一 中華民國ニ留學セントスル者ハ康徳四年勅令第一四三號留學生ニ關スル件ニ依リ民生部大臣ノ認可ヲ要スルモノト爲シ認可ヲ經サル者ノ留學ハ嚴重之ヲ取締ルコト

二 留學ノ認可ハ原則トシテ中華民國ニ居留スル滿洲國人ノ子弟及特殊ノ事由アル者ニ止ムルコト

三 留學セントスル者ハ中華民國居留者ニ在リテハ在華外交機關、國內在住者ニ在リテハ市縣族長及省長又ハ新京特別市長ヲ經由シ留學セントスル事由ヲ明カニシ民生部大臣ニ願ヒ出ツルモノト爲スコト

四 民生部大臣ハ前號ノ出願アリタルトキハ事情ヲ精査シ銓衡ノ上正當ノ事由アリト認ムル場合ニ限り之ヲ認可スルコト

五 留學セシムヘキ學校ハ中等學校以上トシ且豫メ中華民國關係機關トノ協議ニ依リ留學セシムヘキ學校ヲ指定シ置クコト

六 留學生ニ對スル現地ニ於ケル指導監督ハ在華外交機關之ニ當ルモノトシ擔當職員ニ關シテハ在華外交機關ノ調整ニ際シテ考慮ス

七 留學生ニ對シテハ將來徵收延期ノ特典ヲ付與スル様考慮スルコト

認可留學生ニ對スル學費ノ送金ニ付テハ其ノ限度ヲ定メ簡易ナル手續ヲ認ムルコト
又留學生ニ對スル給養、貸費ハ原則トシテ行ハサルコト

措 置

1 現ニ中華民國ニ留學スル者ニ付左ノ事項ヲ調査スルコト

(1) 在籍學校、學年及學生氏名

(2) 身元及學資金ノ出所

(3) 留學ノ理由

2 前號ノ調査ニ基キ現ニ留學スル者ニ付左ノ措置ヲ考慮スルコト

(1) 我國ニ民籍ヲ有スル者ハ本要綱ニヨリ民生部大臣ノ認可ヲ經タル者ト見做スコト

(2) 特別ノ者ニ付テハ本要綱ニヨリ指定學校ヘノ轉校、國內學校ヘノ編入、日本ヘノ留學等ヲ考慮スルコト

3 可及的ニ國內中等學校ノ増設ヲ圖ルト共ニ日本高等專門學校留學生數ノ増加ヲ考慮スルコト
4 本要綱ニヨリ留學ノ統制ハ中華民國ニ於ケル本年度新學年ノ始期ヨリ實施スルコト
5 現行留學生規程ニ所要ノ改正ヲ加フルコト

備 考 現地ニ學生會館等ノ如キ恒久的施設ヲ設クルコトナキモ

ノトス

一 支那側中等教員夏季講習會ニ關スル件
支那側中等學校教員ノ資質ヲ向上シ思想ヲ改善セシムル爲七月中旬ヨリ約二十五日間北京ニ各地方ヨリ約一〇〇名集合セシメ教員ノ人物ヲ鍊成シ學力ノ補充殊ニ思想ノ再教育ヲ行ヒ以テ東亞新秩序建設ニ寄與スル學校教育ノ刷新振興ニ俟ツ可ク中等教員中優秀ナル者ヲ特務機關ノ選定ニ依リ受講セシムル事トセリ(六月十五日方軍參四

密第八二三號

一三 佛敎同願會各地分會開設ニ關スル件

豫テ興亞院華北連絡部ニ於テ指導助成中ノ佛敎同願會ハ支那佛敎徒ヲ糾合組織シ東亞新秩序建設理念ニ則應セル佛敎宣揚運動ノ展開ヲ計ル趣旨ニ基キ昭和十三年十二月北京ニ結成シ爾來佛敎興揚運動及佛敎學院工藝傳習所施診所等ノ事業ヲ經營シ著々所期ノ目的達成ニ努メ來タル處今般時局ノ推移ニ隨應シ諸般ノ機構ヲ一層強化シ對日依存思想ヲ高度ニ振興セシムル企圖ヲ以テ天津、濟南、德縣、臨瀛保定、石門、邯鄲、開封、太原、臨汾等ニ分會ヲ設置シ所在地ノ佛敎徒ヲ糾合網羅シテ本會統制ノ下ニ之カ趣旨普及徹底ニ猛進セシムルコトナレリ

一四 昭和十六年度思想戰指導ニ關スル件

事變解決ノ爲武力戰ニ併行シテ思想戰ヲ強力ニ遂行スル爲大使館、開發會社、華北交通、華北電電、華北電業、廣播協會、新民報、庸報、東亞新報、華北電影、演藝協會、國策研究會等ニ「思想戰指導

要領」ヲ示シテ實施セシム

一五 入滿勞働者誘致對策トシテ 映畫宣傳工作實施ノ件

滿洲國ニ於ケル勞働者保護管理ノ實情ヲ宣傳シ北支勞働者ノ入滿誘致ニ資スルヲ目的トシ併セテ北支民衆ニ對シ驅進滿洲ノ現狀ヲ認識セシムル爲滿洲勞工協會並ニ滿洲映畫協會主催ニテ山東、河北、山西ニ於テ映畫宣傳ヲ實施ス

第二章 涉外關係事項

一、昌平縣駐屯警備隊將兵ニ對スル佛國大使館外交官補「ドーシュ」ヨリノ謝辭傳達ノ件

日時 昭和十六年五月二十二日

場所 昌平縣附近

當地佛國大使館外交官補「ドーシュ」氏夫妻及「ギレルマン」武官補佐官夫妻一行ハ五月二十二日夕頃明ノ十三陵ヨリノ歸途自動車事故ニヨリ同地ニ止ルヲ餘儀ナクセラレタル處昌平縣駐屯警備隊長奥山少尉ハ宿舍及夕食ヲ供與セルコトニ關シ謝辭申出タルニ付現地部隊ニ傳達セリ

二、易縣及涞源ニ於ケル伊國天主教會財產被告調査ノ件

日時 昭和十四年十一月十一日

場所 易縣及涞源

本件ニ關シテハ既ニ先方ニ對シ回答済ナルモ更ニ在上海伊太利大

使館ヨリ同地日本總領事ヲ通シ追加事項トシテ易縣及涿源所在ノ
學校教會禮拜堂トシテ使用中ノ建物焼失セラレタリト申込アリタ
ル處現地部隊ニ於テ調査ノ結果同教會ハ日本軍カ焼却シタルモノ
ニアラス共產軍カ該教會ニ據リ抵抗シ退却ノ際器物ヲ破壊シ放火
セルコト判明セルニ付其ノ旨回答セリ

三、在張店米國系天主堂所有地借用ニ關スル件

日 時 昭和十六年五月三十日

場 所 張 店

在張店山内部隊ニ於テハ練兵場ニ充ツル爲同地米國系天主堂牧師
ト合議ノ上昭和十六年五月三十日以降同教會所有土地ヲ無償借用
スルコトトセリ

四、山西省長山縣方鎮天主堂占據ニ關スル件

日 時 昭和十六年六月一日

場 所 周村東東北約十軒

山東省長山縣天主堂ハ從來屢々八路軍ノ徵發、掠奪ノ根據地トシ
テ利用セラレアルニ付山田部隊周村警備隊ハ附近部落民ノ要望ニ
基キ該天主堂ヲ占據シ之ニ支那側縣警備隊二十五名ヲ駐屯警備セ
シメタルモ尙教會側ヨリ何等ノ抗議申出ナシ

第三章 交通關係事項

一、七月分物資輸送統制計畫ニ就テ

(一) 鐵道ニ依ル輸送計畫

1. 軍需品 (除石炭)

日 額 一〇七二九 應

2. 社用品 (除石炭)

日 額 一三、八三五 應

3. 民需品 (除石炭)

日 額 二八、四三〇 應

計 五、一九九四 應

4. 石 炭

(3) 軍 用 (日額)

(イ) 地 區 内 一〇四、七車

(ロ) 地 區 外

陸軍	一六〇。七車
海軍	五〇。四車
(イ) 治安軍用	〇。九車
計	一二七。七車
(2) 鐵道用 (日額)	一九一。七車
(8) 其他 (日額)	
(1) 軍管工	一一三。六車 (内三。二車ハ「コークス」輸送)
(ロ) 輸移出用	
日本向	四六〇。〇車
滿洲向	一三一。〇車
中支向	一五二。〇車 (内二。〇車ハ「コークス」輸送)
(イ) 船焚用	三六。〇車
(ニ) 民需品	六八三。二車
計	一、五七四。八車

合計 (石炭) 一、八九四。二車
 (二) 水運ニ依ル輸送計登

大清河	軍貨	五〇〇應
	民貨	六七〇〇應
計		七二〇〇應
2 南運河	軍貨	五〇〇應
	民貨	一四八五〇應
計		一五三三〇應
3 子牙河	軍貨	一、五〇〇應
	民貨	三、四〇〇應
計		三、九〇〇應

名總計

軍貨

民貨

計

三、五〇〇 應

二、三九三〇 應

二、六四五〇 應

(三) 計畫ノ概要並ニ實施上ノ注意事項

恒例ノ夏枯期ニ入りタル爲本月ノ輸送計畫量ハ月間三、二七一〇
〇 應ト査定シ前年同期輸送実績ニ對比シ二割一分ノ増送ヲ期待セ

リ
尙出貨ハ逐次閑散期ノ影響ヲ受クヘキモ鐵道輸送力活用上秋冬ノ
出貨繁忙期ニ於ケル輸送緩和ヲ計ル爲此期ヲ利用シ極力貨物ノ送
越愆滯ニ努ムル要アリ交通會社用品建設總署用品塘沽築港用品其
他常續的大量貨物ニ付特ニ此點注意アリ度

三、五月分物資輸送実績ニ就テ

(一) 鐵道(除狹軌線)輸送

月前半ニ於テハ特殊輸送ノ影響ニテ社用品及民需品ニ關シ局部的
ニ抑制ヲ受ケタルモ後半ニ於ケル之カ回復著シキモメアリ月間發
送應數三、二二四五六九應統計對比九七%ノ好成绩ヲ收メタリ
因ニ當月成績ハ本年三月ノ記録ヲ更進セル新記録ナリ

(二) 内河川輸送

逐月好進途上ニアリシ内河川輸送ハ當月ニ入り一部區間ノ濁水並
ニ匪襲事故ニ累セラレ月間輸送量一四八二六應統計對比四〇
%ノ実績ナリシモ之ヲ前年全期ノ輸送量一八四六應ニ比スレハ一
一、九八〇應四二%ノ増送ニシテ之カ向上ノ跡認ムヘキモノアリ

三、天津特三區蘇聯領事館ニ關スル件

在天津特三區碼頭樁內極東學院土地建物ヲ極東學院、華北交通株式
會社双方交換條件ノモトニ華北交通株式會社ニ使用セシムルコトト
ナリタリ

四、英系船舶措置ニ關スル件

天津英系解運會社 (T. T. L) ニ屬スル船舶、施設 (曳船二隻) ヲ除ク全所有船 (一切ノ買収ニ關シ) 畫策中ノトコロ六月二十八日東亞海運株式會社トT. T. L 解運會社間ニ買収契約成立セリ

五華北運輸株式會社 (假稱) 設立ニ關スル件

北支那ニ於ケル小運送業ノ發達並ニ陸上運送ノ有機的體制ノ整備ヲ期シ以テ民衆ノ福利ヲ増進シ併セテ國防上ノ要求ニ即應センカ爲華北運輸株式會社 (假稱) 設立要綱ヲ決定セリ

六、黃河河道ノ根本處理ニ就テ

黃河中牟決潰口築堤委員會ノ委員並ニ經費ヲ決定シ業務ヲ開始セリ

本件ニ關シ北支那方面軍ハ將來現新黃河ノ大部ヲ舊黃河 (濟南黃河) ニ復セシムヘキモノトノ見解ヲ有シアリヲ以テ努メ本委員會ノ事務ヲ援助スル如ク指導シアリ

築堤準備工作ヲ實施シ之ニ關聯スル舊黃河河道ノ調査及修復ハ建設總署ニテ擔任施工シアリ

決潰口築堤實施ノ細部ニ關シテハ目下研究中ナリ
七、船主公會結成狀況

河川名	公會名	公會長氏名	加入船主數	加入船隻數	結成年月日
子牙河	邯鄲船主公會	張紫雲	二五六	五五六	一五二二
大清河	保定船主公會	董求平	四五四	四六〇	一六一五
南運河	天津南運河船主公會	任大海	二七六	二八〇	一六一六
北運河	天津北運河船主公會	臺德起	三八九	三九三	一六二八
東北河	天津東北河船主公會	張子鄉	六三八	六四七	一六四七
子牙河	天津子牙河船主公會	韓廣圓	五〇〇	五〇〇	一六五〇
南運河	德縣船主公會	蘇子明	一八七	二二九	一六一六
小清河	濟南船主公會	高蔚堂	四六三	四六三	一六一六
大運河	濟寧大運河船主公會	顧維新	二四一	二四三	一六一六
南運河	新鄉船主公會	宋恭宸	二〇〇	二八三	一六一六
大運河	運河船主公會	下念祖	一六七	一六七	一六三七

八建設總署關係

本月中建設總署ニ對シ新ニ工事ノ實施ヲ指示セル（與亞院ヲ通シ）

事項左ノ如シ
 九本月中ニ於ケル石材採取許可狀況

位置及區域	種類	使用目的	採取計畫	採取期間	出願者
河北省正定縣	川砂	軍建設總署	三〇〇〇立米	自昭和一九二〇 至昭和一九二二	華北物産公司
沱河南岸地	川砂	工事納入	三〇〇〇立米	自昭和一九二〇 至昭和一九二二	井原義之
蘇北地區徐州	石材及碎石	道路新設工事	二〇〇〇立米	自昭和一九二〇 至昭和一九二二	五十嵐茂男

七本月中ニ於ケル建築統制許可狀況

金額	場所	建築內容	出願人	摘要
三九八〇〇〇	新郷	工場移轉、新築工事	河南軍管理 第九工場	
六七〇〇〇	北京	住宅	久保田工所 内田吾郎	
六七五〇〇〇	天津	住宅新築	北島與多郎	

二〇四〇〇〇	天津	學校新築	天主教聖母無 染原罪傳教修 女會	
五四四五〇		自動車庫、事務所 宿舍、警備員詰所	高西敬義	
四〇〇〇〇		集合住宅	前岡孫四郎	
八八五〇〇		紙袋製造工場	片山左右作	
三八〇〇〇	北京	住宅	北支棉花協會	
一〇六一二〇	天津	民團職員宿舍	白井忠三	
二〇七〇七五		學校職員宿舍		
四八五〇〇		自動修理工場	室井昇吉	
四八七一八〇〇		住宅新築	岩崎剛	

第四章 産業經濟關係事項

一、經濟一般關係

1、外地總動員會議開催ノ件

六月十六日ヨリ十八日迄東京ニ於テ日滿支總動員實施ノ緊急一體化ヲ目的トスル昭和十六年度外地及滿支各軍總動員主任官會議開催セラレ當軍ヨリ主任參謀トシテ中村參謀、主任經理官トシテ加藤主計少佐會同ス

2、瀋安炭礦開發ニ關スル件

瀋安炭礦ノ開發ハ軍、興亞院完全ナル瞭解ノ下ニ差當リ華北交通會社（北支開發會社トノ組合組織）ヲシテ軍管理（監督）ノ下ニ急速ニ開發セシムルコトニ定メ諸準備ニ着手セシムルニ付中央ニ於テモ盡力方依頼シ直ケリ

3、曹達灰ノ中支向移出ノ件

曹達灰ノ處置ニ關シテハ關係官協議ノ結果左記ニヨルコトトセ

(一) 軍管理ノ水利工場（天津）生産額（昨年度月平均二七八三）ハ現状ニ於テハ華北ノ需要ニ對シ月約壹千圓ノ供給過剩ニア
ルコト

(二) 從テ右過剩分ノ處分ヲ承認スルコト乃チ

(1) 北支間國際收支ノ決濟ニ充當セシムル爲差當リ中支向移出ニ限リ承認スルコトトシ信用狀付圓爲替決濟タルコト

(2) 數量八月五百圓乃至壹千圓ヲ目途トシ但シ現在滯貨ハ約三六〇〇圓ニ及フヲ以テ六、七月中ノ積出高計三千圓程度許

容ノコト

(1) 價格 上海三百五十圓以上タルコト

(2) 中國聯合準備銀行各辦事處ハ移出許可證發給毎ニ同行總行經由興亞院ニ報告スルコト

- (1) 徐州等ニ於ケル取扱ニ付テモ同様處置スルコト
- (2) 移出者ニ付テハ特定セサルコト
- (3) 曹達灰ノ日本ヨリノ輸入ハ之ヲ差控フルコト
- (4) 對關滿期待分ニ付テハ計畫通り輸入ヲ行フコト
- (5) 對外輸入（從來ハ英國品ノ輸入アリタリ、昨年三六〇〇圓、一昨年五九〇〇圓）ハ當分抑制スルコト

三、金融關係

1、舊通貨處理要領ニヨリ買上ラルヘキ舊通貨ノ種類
 舊ニ通牒セル舊通貨處理要領中ノ買上ラルヘキ舊通貨ノ種類ニ關シ最近新規發行法幣流用シアル現状ヨリ敵方ニテ企圖シアル金融攪亂謀略ニ乘セラシムル虞ナントセサルヲ以テ之カ防遏ノ爲左記第一ノ理由ニヨリ左記第二ノ通り措置スルコトニセリ

左記

第一、理由

一、買上ケラルヘキ舊通貨トハ民國二十八年三月十日迄流通ヲ認

メラレタル通貨（中國、交通兩行ノ北方券、河北省銀行券、冀東銀行券、山東票及山西票）中國、交通兩行ノ南方券、中央銀行券及中國農民銀行券ナルコト

三、前項紙幣ノ發行銀行號ハ華北ニ於テハ聯銀創設後ハ之等ノ紙幣ノ新規發行及再發行ハ禁止セラレ居ルコト

四、發行地銘ノ記入ナキ中國銀行新券ノ撒布ノ如キハ敵側ノ謀略的工作トモ認メラレ之ヲ買上クハ敵側ノ金融攪亂工作ニ乘セラルル虞アルコト

第二、措 置

一、既定方針ニ依リ買上ケラルヘキ舊通貨ノ發行銀行號ノ發行ニ係ハ通貨ト雖買上ケラルヘキ舊通貨ニ該當セサルトキ（例ハ本件中國銀行券ニシテ發行地銘ナキモノ）ハ原則シテ買上ケラザサルモノトス

二、右ノ事例アル場合ハ現地軍ヨリ速ニ方面軍ニ連絡ノ上措置ス

ルコト

其他關係機關ニ於テモ速ニ關係當局ト連絡スルコト

三、本件ニ關シテハ適當衆知方ヲ購スルコト

2、山西實業銀行開業ノ件

豫テ設立準備中ノ山西實業銀行ハ六月二十五日創立總會ヲ終了シ七月二日ヨリ營業ヲ開始スルコトナレリ

三、軍管理工場關係

1、軍管理解除發表ニ關スル件

軍管理解除並ニ之ニ伴フ處理ハ日華基本條約ノ根本精神タル平等互惠ヲ基調トスル日支經濟提携ノ具現トシテ懸案タリシモノ尙特ニ事變記念日タル七月七日ヲトシテ華北全域ニ日華文ヲ以テ之ヲ發表セリ

發表文

軍ハ昨年三月十八日軍管理工場返還ニ關スル布告ヲ發表以來之カ

具體的處理ニ關シ鋭意研究中ノ處、ココニ事務的準備ヲ完了シ差
 當リ四十ノ工場ニ付軍管理ヲ解除スルコトトセリ依テ正當權利者
 ハ華北政務委員會ノ示ス軍管理工場返還申請手續ニ基キ返還ヲ申
 請シ本然ノ産業活動ヲ復活シ華北經濟ノ發展ニ協力センコトヲ切
 望ス

- 2、軍管理振北製革廠運營者委託換ノ件
 組工業株式會社ハ軍管理振北製革廠ノ受託運營ヲ昭和十六年五
 月十五日附ヲ以テ華北皮革株式會社ニ引繼キタリ
- 3、孤山炭礦軍管理認可ノ件通牒
 蘇北地區肅縣所在ノ該炭礦ハ昭和十四年二月徐州特務機關長ノ命ニ
 ヨリ日本製鐵株式會社室木隆三郎ヲシテ接收以來之カ採掘ニ當ラシ
 メタリシモ現地特務機關長ノ申請ニヨリ認可セラレタリ

同事業審査關係

本月中審査シタル事業許可左ノ如シ
 ノ工業關係

件名	事業目的	出願人	資本人	處置	條件又ハ理由
資本金増加申請ニ關スル件	天津工場外各所工場ノ設備	北京東城內一區西布胡同北支自動車工業株式會社 豐田喜一郎	增加分(六百萬圓) 一千百萬圓	認可	
蓄音器レコード製作工場設置願ノ件	蓄音器レコード製造販賣	北京景山後街大平街日本街ル所 株式會社北京出張 大楠光吉	五十萬圓		
製藥工場増築充實計畫許可願ノ件	メタホリン、強力、葡萄糖注、ロソ、ンカルシウム注、バクシエルスタン等製造ノ爲	天津日界旭街三ノ三 武田長兵衛商店 天津出張所	二十萬圓		
倉庫富岡商會北支工廠營業願ノ件	ハムソーセージノ製造販賣	北京市外五區買家胡同 富岡貞吉	一萬五千圓		

2 銀業關係

件名	採掘箇所	出願人	資本金	種類名 條件及理由
金鐵開發ノ件	河北省昌平縣北 東西水嶺地	北京內三區八條胡 綵同亞鐵業 株式會社 社長 幸次郎	六万圓 認可	金鐵
石炭開發ニ關スル件	河北省井陘縣 河東、河西吳家、南關、黃家、南關、黃家、南關、黃家	北京市內一區小羊 井陘縣同 草場義夫 株式會社	四十万七千圓	石炭

又其ノ他

件名	事業目的	出願人	資本金	處置	條件又ハ理由
盛大農場經營認可ノ件	水田經營 河北省靜海縣第三區一二〇町步	天津市保安大街 星里七號 西口正	三万五千圓 認可		
蒼真農場經營認可申請ノ件	水田經營 河北省撫寧縣第四區四二町步	河北省秦皇島五八號 金川光男	三万圓		
萬華洋行湯原謙申請營業認可ノ件	輸入 鋼材、工業藥品、支那土産品	天津日界須磨街 湯原謙	四万八千圓		

最近三ヶ月金融相場 (天津)

月日	對 英	對 米	舊幣價值
	舊幣一圓=付	舊幣百圓=付	舊幣千圓=付
4.7	8 $\frac{1}{4}$	5 $\frac{11}{82}$	595.00
15	8 $\frac{11}{82}$	5 $\frac{1}{2}$	599.00
25	8 $\frac{15}{64}$	5 $\frac{1}{4}$	515.00
5.5	8 $\frac{1}{4}$	5 $\frac{1}{4}$	508.75
15	8 $\frac{11}{82}$	5 $\frac{15}{82}$	512.50
26	8 $\frac{17}{82}$	5 $\frac{8}{4}$	527.50
6.5	8 $\frac{7}{8}$	6 $\frac{8}{8}$	558.50
10	4	6 $\frac{1}{2}$	685.00
16	8 $\frac{7}{16}$	5 $\frac{9}{16}$	595.00
20	8 $\frac{9}{16}$	5 $\frac{25}{82}$	595.00
25	8 $\frac{28}{82}$	6 $\frac{1}{8}$	642.00
30	8 $\frac{3}{4}$	6 $\frac{1}{8}$	687.50

五
參
考
1

小麥雜穀及綿布市價表 (於北京)

月日	小麥 百市斤	麵粉 袋	高粱 百市斤	玉蜀黍 百市斤	粟 百市斤	大五福綿布 疋
4. 7	24.50	16.80	18.80	14.00	20.90	38.50
15	25.00	16.10	18.80	13.50	20.90	38.30
25	25.00	15.80	14.10	13.80	22.00	39.00
5. 5	25.00	16.10	13.80	13.70	22.10	35.00
15	25.50	16.80	14.00	14.20	21.40	35.50
20	25.20	11.60	14.00	13.80	21.40	36.30
6. 5	25.00	17.10	14.00	14.10	21.30	36.50
10	25.00	16.90	14.00	14.00	21.20	37.70
18	24.50	16.90				37.00
20	24.50	16.70	13.70	13.30	21.30	36.50
25	24.90	17.90	14.00	13.30	22.50	38.00
30	24.50	17.90	13.80	12.30	19.50	41.40

參考
2



